

～ 高・清フレンドリー古道 ～

第 2 卷

「清川道」域 調査報告書

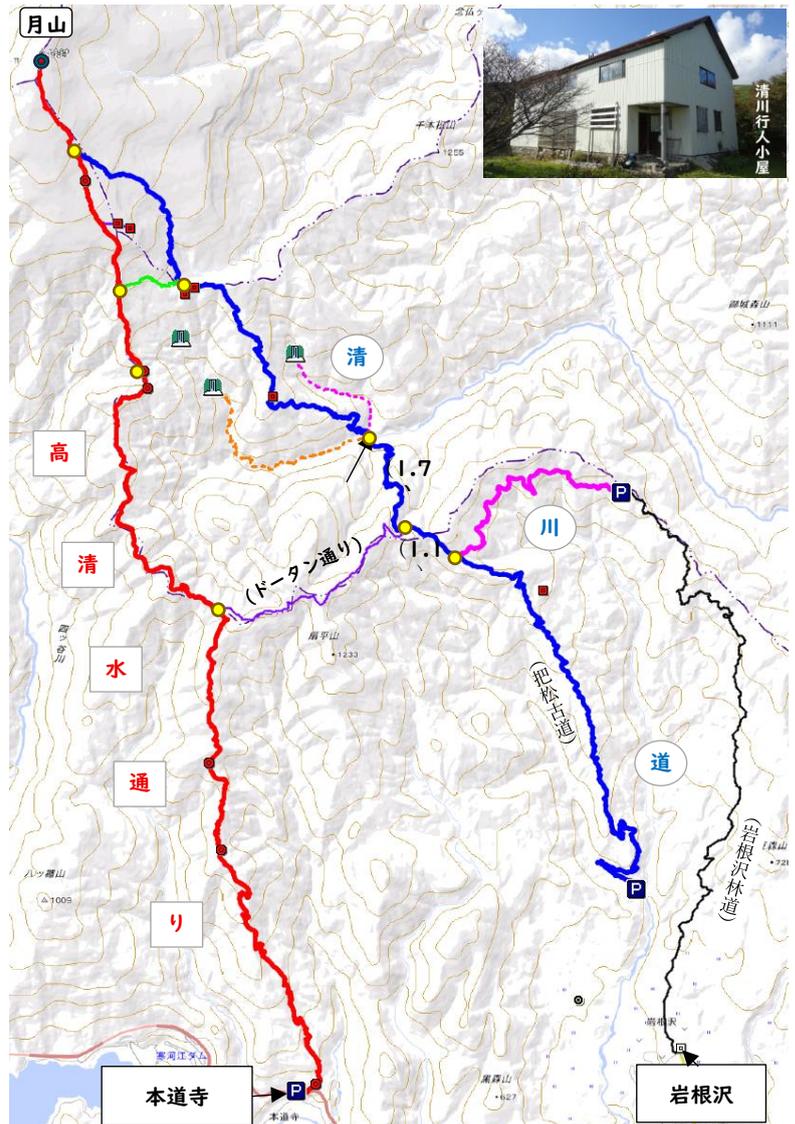
T-FMO
&
[T・K-Friends]

本件第2巻は右全体構図の中で青色実線「清川道」沿いの史跡等に焦点を当て記述する。

本件調査に係った記録は下表のとおり。

「清川道」主体 調査記録	
調査年月日	対応者
2023(R5)/7/31(月) ～8/1(火)	阿部剛士 大沼香
2023(R5)/8/29(火) ～8/30(水)	宮林良幸 阿部剛士 大沼香
2023(R5)/9/11(月)	芳賀竹志 真鍋雅彦 阿部剛士 大沼香
2023(R5)/9/23(土) ～9/24(日)	宮林良幸 大沼香
2023(R5)/10/8(日)	大沼香
2023(R5)/10/11(水) ～10/12(木)	片倉忠幸 松田秀孝 大沼香
氏名の敬称は略する。	

【月山までの頑張る（健脚）コース】



目次的項目		
章	件名	頁
1章	たばねまつ 把松稲荷神社	3～5
2章	烏川行人小屋跡	6
3章	不動明王梵字「カンマン」碑	7～14
4章	清川行人小屋前石碑群	15～31
5章	「清川 御所王子 社」	32～42
6章	くなど 「来名戸神」	41～49
7章	「月山 湯殿山 追分碑」	50
8章	「御田の神」	51～53
<ul style="list-style-type: none"> ・頁は通し付定とする。 ・図・表の番号は各章毎とする。 		

調査対応トリガーの中核的参考書籍

清川道に係る本件調査は次の郷土史3書籍が動機となり、考察に当たっての参考図書とした。

- ①原田一男著「月山登山案内」(山形山岳會・大正九年八月二十日初版発行)
- ②丸山茂著「神都 岩根澤之面影」(同刊行舎・昭和十五年十二月二十日発行)
- ③井場英雄著「岩根沢ものがたり」(岩根沢地区公民館・昭和五十一年十一月三日発行)

その中で原田一男著「月山登山案内」に記載の右図における地点の史跡・名所に焦点を当て調査したものである。

- ①把松稲荷神社
- ②不動明王碑
- ③清川行人小屋
- ④清川御所王子社
- ⑤来名戸神
- ⑥「月山・湯殿山」追分碑
- ⑦御田の神
- ⑧烏川不動滝

なお、②⑥については同図に出て来ないが、一連の史跡に入るものとして取り上げることとした。

- ㊦「烏川行人小屋」周辺については未調査である。
- ①「胎内岩」は別記する。

前出3著書は往古の月山・湯殿山参詣の基点岩根沢(旧日月寺と係る道者・鉞山師)繁栄のものがたりであるが、以下の本書調査内容に係る記述は、地点名称以外はそれらに不記載のまったく新しい発掘・発見に係る紹介である。他にも出羽三山に係る学識者の既販書籍本は多数存在するが、それらにもまったく記載されていない内容である。

